

## 【認知症高齢者数の現状と将来推計】

本県の高齢者人口は、令和2(2020)年の36.0万人をピークに緩やかな減少に転じているが、後期高齢者(75歳以上)の人口は引き続き増加していく。

認知症高齢者数は、令和7(2025)年で47,000人、高齢者の13.4%(約7.5人に1人)と推計される。今後は、令和22(2040)年頃をピークに減少に転じ、令和32(2050)年には47,700人程度となる見込み。

基本理念

- 【尊厳の尊重】 : 認知症になってからも、尊厳を保持する一人の人間であることを尊重する。
- 【本人主体】 : 認知症のある人を、「支える対象」としてだけではなく「権利の主体」として位置づける。
- 【理解と共感】 : 認知症を正しく理解し、全ての人が自分ごととして考える。
- 【自分らしさの尊重】 : 認知症になってからも自分らしく暮らし続けられるよう、できることや個性を生かす。
- 【共生】 : 誰もが対等な地域の一員として支え合い、共に生きる。
- 【備え】 : 誰もが認知症になりうることを前提に、発症を遅らせ、認知症になってからも進行が緩やかになるよう、科学的知見を共有しリスクに備える。



目指す姿  
(ビジョン)

認知症があってもなくても、県民一人ひとりが互いに尊重し、支え合いながら、誰もが自分らしく安心して暮らし続けられる秋田を実現する。

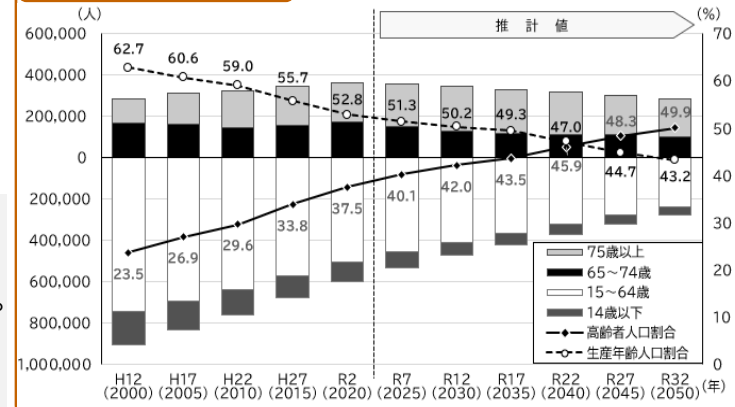
## 【基本的な考え方】

高齢化が全国で最も進む本県では、認知症のある人も住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる共生社会をつくるのが重要な課題となっていることから、県民一人ひとりが「新しい認知症観」に立ち、互いに尊重し、支え合う地域社会を築いていくことが重要。

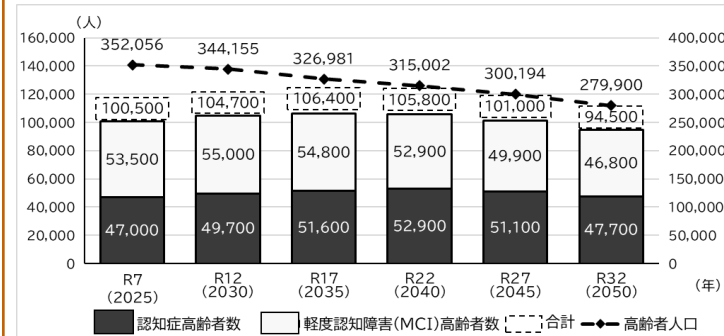
## 【新しい認知症観】

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で多様な主体とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方。認知症の人が自らの意思によって、日常生活及び社会生活を営むことができる共生社会をつくる基盤となる。

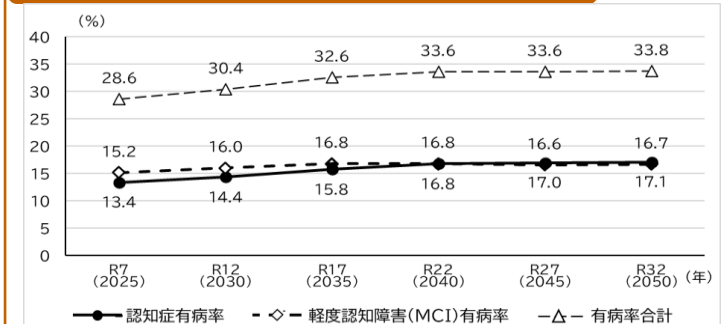
## 本県の人口推移



## 本県の高齢者数と認知症高齢者数の将来推計



## 本県の高齢者の認知症有病率の将来推計



## 基本目標と基本施策

国の「認知症施策推進基本計画」を踏まえ、4つの基本目標を設定し、8つの基本施策を推進する。

### 基本目標

#### 1. 認知症への理解と共感の促進

県民一人ひとりが「新しい認知症観」に立ち、認知症を自分ごととして考えられる社会づくりを推進する。

関連基本施策：1. 2. 4. 8

#### 2. 認知症になってからも自分らしく暮らせる地域づくり

認知症の人や家族が孤立せず、役割や生きがいを持ちながら社会参加し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境を整える。

関連基本施策：3. 4. 5. 8

#### 3. 切れ目のない保健・医療・福祉の体制整備

予防や早期発見に向けた対応のほか、認知症になってからも、その人らしさを尊重したサービスを提供するとともに、医療・介護・福祉が連携した体制の充実に取り組む。

関連基本施策：2. 6. 8

#### 4. 身近で相談しやすい支援体制の整備

不安や困りごとを抱える人が気軽に相談でき、必要な支援や制度につながるができるよう、相談・支援に関する体制を充実させる。

関連基本施策：2. 7. 8

### 基本施策

#### 1. 認知症に関する県民の理解の増進

- ・正しい知識の普及と啓発の充実
- ・本人による発信の促進

#### 2. 認知症の予防

- ・運動習慣や人との関わりの促進、難聴対応など  
日常の中で取り組める予防の推進
- ・早期発見・早期対応に向けた連携体制の整備

#### 3. 認知症のある人の生活におけるバリアフリー化の推進

- ・交通の安全と移動支援
- ・地域で見守る体制の構築

#### 4. 認知症のある人の社会参加の機会の確保

- ・外出や交流の機会の確保
- ・若年性認知症のある人への支援の推進

#### 5. 認知症のある人の意思決定の支援及び権利利益の保護

- ・意思決定を支援する取組の推進
- ・高齢者虐待防止の推進

#### 6. 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備

- ・専門的で質の高い医療提供体制の整備
- ・医療・介護人材の確保・養成と資質向上

#### 7. 認知症のある人や家族の相談体制の整備

- ・総合的な相談体制の整備
- ・情報提供と支援ネットワークの充実

#### 8. 関係機関との連携の推進

- ・医療機関連携体制の強化
- ・地域連携及び支援者ネットワークの強化

## 目標・指標

### 1. 認知症への理解と共感の促進

指標	直近値	目標値
認知症サポーター数(累計)	136,960人 (R7.6.30)	164,500人 (R12.6.30)
認知症サポーター養成講座に本人が参画する市町村数	3市町村 (R7)	20市町村 (R12)

### 2. 認知症になってからも自分らしく暮らせる地域づくり

指標	直近値	目標値
本人参画による市町村認知症施策推進計画策定市町村数	0市町村 (R7)	25市町村 (R12)
チームオレンジ設置市町村数	11市町村 (R7.10.31)	25市町村 (R12)

### 3. 切れ目のない保健・医療・福祉の体制整備

指標	直近値	目標値
医療・介護従事者を対象とした認知症に関する研修修了者数(累計)	8,756人 (R6)	11,306人 (R11)
難聴を切り口とした予防・早期発見に取り組む市町村数	4市町村 (R7)	23市町村 (R12)

### 4. 身近で相談しやすい支援体制の整備

指標	直近値	目標値
認知症疾患医療センターの相談対応件数	3,517件 (R6)	4,000件 (R11)
若年性認知症支援コーディネーターの相談対応件数	141件 (R6)	190件 (R11)